

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築物気候変動対策小委員会	主 査 名：外岡豊 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：伊香賀俊治 主 査 名：
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>1. 本小委員会では、最新の研究と国や地方自治体における施策動向、世界的な動向等、最新の情報を収集し、建築、都市、生活分野における気候変動対策について検討する。</p> <p style="margin-left: 20px;">建築物省エネ法施行に関連する諸問題 優良建築資産の形成と維持 低炭素まちづくり (C40、エコビレッジ等の国外状況を含む) パリ協定後の世界情勢と国内情勢 (電力の自由化、電源構成、再生可能エネルギー導入、国産材の有効利用等を含む)</p> <p>2. SDGs 等、より長期的な持続可能社会形成、コミュニティ復興、国土安全利用等、関連要素と気候変動対策の同時考察</p> <p>3. 低炭素推進会議並びに合同 WG と連携してより活発な活動を模索する。</p> <p style="margin-left: 20px;">低炭素化のモデル分析：都市モデル、都道府県モデル</p> <p>随時、公開勉強会や庁舎・公共建築等の低炭素化事例見学会を開催する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：	
	主査：外岡豊 (埼玉大学) 幹事：川久保俊 (法政大学)、吉田友紀子 (アール・アイ・エー) 委員：高木直樹 (信州大学)、横尾昇剛 (宇都宮大学)、長谷川兼一 (秋田県立大学)、山口容平 (大阪大学)、依田浩敏 (近畿大学)、松原斎樹 (京都府立大学)、平野勇二郎 (国立環境研究所)、竹部友久 (日本設計)、吹抜陽子 (東京都)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. 地球環境部門「持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた建築・都市分野の責務と課題」 参加者数 150 「持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた建築・都市分野の責務と課題」
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. SDGs に関しては大会研究集会と公開勉強会を実施、川久保俊（法政大学）は環境推進費研究代表として自治体の SDGs 取り組みに関する調査研究を行っており、学会内外で先導的な役割を果たすことができた。</p> <p>2. 本小委員会委員竹部友久（日本設計）が設計した雲南市庁舎は環境省主催の公共建築物の ZEB 化実現に関する施設見学会の対象に選定され竹部が現地説明を実施した。同様に長谷川兼一（秋田県立大学）関わった秋田市庁舎も施設見学会の対象に選定された。</p> <p>3. 本小委員会委員の多数は低炭素社会推進会議とその学会内 WG 委員を兼ねており低炭素社会推進会議を通じて建築物気候変動対策の推進を目指した諸活動を実施した。</p>
<p><b>委員会活動の問題点・課題</b></p>	<p>1. 委員各自多忙のため委員会開催が困難で活発な議論を行えていない。</p> <p>2. 地方の委員が多く学会のテレビ電話設備不調のため順調な討論がしにくい。</p> <p>3. 関連する小委員会との連携活動を行いたかったが実現できなかった。</p>